

??? 素朴な疑問にプロが **バカリ** お答えする! ???

# リフォーム 修繕&メンテナンス ⑤

## Reform Q&A その5

リフォームを考えた  
あなたへの  
"きっかりチカラ"

気密性の高い住居の普及で、結露の悩みが増えています。結露とは周囲の空気より温度の低いものの表面に触れた空気の温度が下がって、水蒸気が凍結してその表面に水滴ができる現象です。結露には窓ガラスや壁の表面にできる「表面結露」と、壁の内部にできる「内部結露」があります。表面結露は目に付いた時に拭き取ることが



**Answer**

**日頃から換気  
気を付けるとともに、  
二重サッシや断熱材の  
導入をお勧めします。**

できますが、内部結露は壁の内側で起るので目に付かず、異常なカビ臭が気付くことが多いです。これは、室内の暖かい空気が内装材を通過し、壁によって冷やされることで起こります。結露を防止するには、湿度を出さないよう日頃から心がけていくことです。こまめに換気扇を回して湿気を追い出し、窓の周辺や水回



**Question**

**結露がひどくて、部屋の内部にカビが大量発生! カビを落とすだけで大丈夫なんやろか?!**

りにできた結露はすぐに拭き取るようにしましょう。ホームセンターなどで手に入る結露防止シートも効果的です。家具類も壁にぴったりと寄せず、空気が通るように隙間を持たせましょう。壁のカビはビニールクロスなら家庭用洗剤で落とすこともできますが、再度発生することがあります。防菌処理した壁紙に替えることをお勧めします。その時は、下地までカビが発生していないか確認し、発生していた時は、下地も取り除いて防菌材を施します。この作業は専門家に任せられた方が良いでしょう。こうした作業で結露が減少すればいいですが、すでに部屋中にカビが発生している場合は、内部結露の恐れもあります。放っておくと家自体を腐食させるので、根本的な対処が必要です。まず窓の結露ですが、これには断熱性の高いサッシが効果的です。二重サッシ、ペアガラス、断熱ガラスなどと呼ばれるもので、最近では非常に高性能なものもあります。また壁には断熱材を入れ、気密・防湿シートを張りましょう。すでに断熱材が入っている時も、量が十分でなかったり、隙間があると良い効果が出ません。すでに内部結露を起すほど断熱材が濡れかかっている恐れもあります。断熱材の診断、施工に関してはリフォーム業者に相談しましょう。

もっと詳しく大切なお家のこと、お話ししたいです。どうぞお気軽にぜひ、お電話ください!



駐車場  
完備



**イレブンエーステート株式会社**

〒533-0011 大阪市東淀川区大槻2丁目5番6号 **所在地**

TEL 0120-68-1171 FAX 06-6324-1171

06-6324-1195 定休:水曜日



住宅性能保証機構登録店  
(財)住宅保証機構より保証書が発行できます

(社)大阪府宅地建物取引業協会正会員 (財)住宅性能保証制度登録店 第21001461号  
住宅性能保証/大阪府知事(3)第46204号 建設業/大阪府知事許可(特2-20)第109245号

ホームページもご覧ください。 URL <http://www.11estate.co.jp>  
E-mail [info@11estate.co.jp](mailto:info@11estate.co.jp)

ウラ面もご覧ください